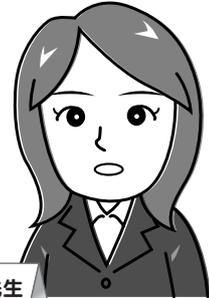


# なぜ子どもを救うための新しすく

いじめや虐待などにより  
困こまっている子どもがいます。

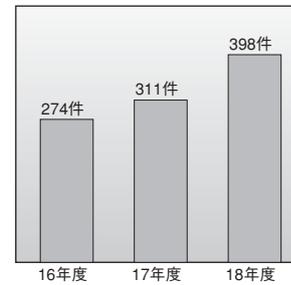
全国的にも大きな問題として取り上げられているように、  
いじめや虐待(親からよくたたかれる、親が面倒をみてくれない。)で  
苦しんでいる子どもたちがいます。  
例えば、札幌市の虐待の通告件数は、増えてきています。



よしおか先生

虐待の通告件数

(件数)

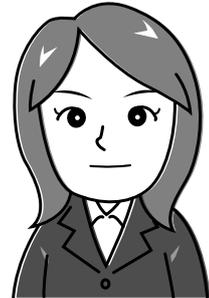


りょうこさん

私も虐待の事件をニュースで  
見たことがあります。  
なんとかならなかったのかな。

いじめや虐待以外にも、さまざまなことで  
悩なやんでいる子どもたちがいます。

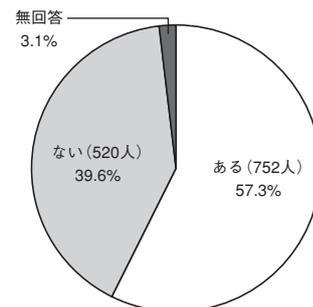
札幌市では、平成19年に子ども5,000人を対象にしたアンケート調査を  
実施しました。その結果1,313人が回答し、例えば「ほかの子どもがつらい目  
にあっていることを見たことがあるか。」という問いに「ある」と答えた子どもは  
57.3%いました。いじめや虐待だけではなく、そのほかにも、子どもたちは、  
さまざまなことで、悩んだり苦しんだりしているのではないのでしょうか。



けんじくん

半分以上の子どもが、  
つらい目にあっていること  
を見たことがあるんだ。  
ひとつとではないんだね。

アンケートの結果

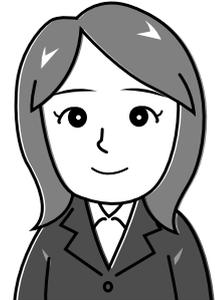


# い仕組みが必要なのですか？

札幌市にも、さまざまな相談窓口があります。でも…？

札幌市には、子どもアシストセンターや教育委員会のいじめ電話相談など、さまざまな相談窓口があります。

ただ、次のように感じたことはありませんか？



相談だけでは解決できない場合もあると思うけど…。

どこに相談すればいいかわからないなあ。

気軽に相談していいのかな？



今も、悩みを解決できずに、困っている子どもがいると思うな。なんとかならないかな…



そのために、札幌市では、子どもを救うための新しい仕組み(救済制度)を作ろうとしています。次のページからは、この救済制度について説明します。

